令和5年度 中学校卒業式　式辞

まだまだ肌寒い中にも、温かい日差しの温もりを感じ取れるようになってきました。一抹の寂しさを覚える中にも、希望の光、温かさを感じ取れる春がやってきました。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。本日、第51回大阪体育大学浪商中学校の卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、教職員、在校生、関係者一同にとりましても大変大きな喜びであります。ただいま37名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。今日は皆さんにとって大きな区切りの日となります。義務教育の期間を終え、今後は自らの意思で歩むべき道を選択し、それぞれの人格の形成を目指すこととなります。

保護者の皆様、3年前、大切なお子様をお預かりし、ご期待に添えるよう教職員一同、一体となって教育を進めてまいりました。この間、本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。今、晴れやかに巣立つお子様の英姿を目の前にされ、幼いころからの生い立ちを思い出されるなど、感慨もひとしおのことと存じます。このように立派に成長を遂げられましたのは、絶えずお子様を励まし温かく育んでこられました保護者の皆様方の薫陶のお蔭であります。このような頼もしい若人の姿として実を結びましたことに、心からの敬意とお祝いを申しあげます。

今、振り返ると、コロナ禍の中、大きな不安を抱きながらの中学校入学だったと思います。全員がマスクを着用する中での入学式は今も記憶に残っています。その後も様々な制限、制約がある中、中学校生活がスタートしました。月日の経過とともに、少しずつ緩和も進み、活動の幅も広がり、それと同時に学校全体にも活気が戻ってきました。そのような中、皆さんとともに参加できた今年の修学旅行は観光先の綺麗な景色、様々な体験より、笑顔いっぱい、元気いっぱいな姿が何よりも印象に残っており、大変感慨深く、また安堵の思いで胸がいっぱいになったことを思い出されます。ようやく平常化した様々な行事における皆さんの活躍、特に今年度は複数のクラブにおいて全国大会で優勝、入賞するなど過去最高の素晴らしい実績、成果を収めてくれました。皆さんは制約があった時期も乗り越えながら、それぞれの目標に向かって精一杯努力を続け、大きな成長を遂げ、今日の日を迎えてくれました。

皆さんが今まで取り組んできたこと、すべての経験には価値があります。そして、皆さんが今まで巡り会えた人、数多くの出会いのすべてには意味があります。自分を信じ、他者を認め、尊重できる心を育み、一歩一歩自らの人生を切り開いていく。人と人との繋がり、協力、支えがあり、私たちは社会生活を営むことができています。時代は変わっても変わらないもの、忘れてはいけないもの、目に見えないものをこれからも大切に育み続けてくれることを切に願っています。

最後になりましたが、皆さんの未来は前途洋々とした可能性が広がっています。次のステージへ進み、失敗を恐れず、チャレンジ精神をもって高校生活を送ってください。皆さんのこれからの活躍、飛躍を心より祈念し、卒業式の式辞とさせていただきます。

 令和6年3月2日　大阪体育大学浪商中学校　　校長　工藤哲士